

株主の皆様とテクマトリックスを
つなぐIRマガジン「テクマティズム」

TECHMATISM

第36期 第2四半期報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで

テクマトリックス株式会社



TechM@trix

証券コード **3762**



外部環境の変化に左右されない、
持続可能な成長基盤を構築し、
通期目標達成に向けて邁進していきます。

代表取締役社長

由利 孝



2020年3月期第2四半期 連結累計期間を振り返って



2020年3月期第2四半期連結累計期間の世界経済は、経済大国間の貿易摩擦による米中経済成長の鈍化や、BREXITの混迷によるEU市場の先行き不透明感などありましたが、国内では、政府主導の金融政策、財政出動の継続、東京オリンピック・パラリンピックに向けた経済効果等が景気を下支えする中、企業や行政における働き方改革に伴う業務効率化、労働生産性向上に向けたAIやRPA等を活用した取り組みが進行し、IT業界全体として旺盛な需要の恩恵を受けることができました。

こうした中、当社グループは独自の製品・サービスの販売が順調に推移し、第2四半期連結累計期間において、売上高、営業利益など全ての指標で計画値を上回る過去最高の結果となりました。

併せて、中期経営計画「GO BEYOND 3.0」で掲げた事業構造改革を推進し、未来に向けた種蒔きに引き続き注力してきました。

また、連結子会社NOBORIの医療情報クラウドサービスの積極的な推進が評価され、経済産業省が選定する「IT経営注目企業」に2年連続で選定されました。

「GO BEYOND 3.0」による 事業構造改革に邁進



中期経営計画「GO BEYOND 3.0」の2年目に当たる2020年3月期は、前期同様に未来に向けて持続可能

第2四半期決算ハイライト

| | 前第2四半期 (百万円) | 当第2四半期 (百万円) | 前年同期比 |
|----------------------|-----------------|-----------------|-------|
| 売上高 | 12,117 | 13,800 | 13.9% |
| 営業利益 | 944 | 1,343 | 42.3% |
| 経常利益 | 888 | 1,339 | 50.8% |
| 親会社株主に 帰属する四半期純利益 | 585 | 871 | 48.8% |

な成長基盤を構築する事業構造改革に邁進します。

情報基盤事業では、当社が独自に開発した、数百パターンにも及ぶ脅威シナリオに基づく相関分析を用いたセキュリティ統合監視サービス「TechMatrix Premium Support powered by TRINITY」の提供を開始し、順調に受注実績を積み上げています。また、「働き方改革」を実践する企業が増える昨今、外部から企業内のネットワークに接続するリモートアクセスやクラウドサービスの利用は増加傾向にあります。こうした中、これまで広く利用されてきた通信方式である、VPN (Virtual Private Network) の課題を解決し、クラウド時代に最適なSDP (Software Defined Perimeter) フレームワークに準拠した、ゼロ・トラストモデルに基づく次世代セキュアアクセスソリューション「AppGate SDP」の販売を開始しており、これまでにない新たなコンセプトの普及・啓蒙に注力しました。

さらに連結子会社においても、新たな成長基盤を創出しつつあります。連結子会社クロス・ヘッドでは、積極的な教育投資によりAmazon Web Service (AWS) のクラウドサービスを熟知した技術者を200名程度育成し、AWSからAPNアドバンストコンサルティングパートナーの認定を取得しました。連結子会社沖縄クロス・ヘッドでは、災害復旧の拠点として注目される沖縄のデータセンターと九州地域のデータセンターの連携を行う共同検証を開始するなど、BCPサービスの拡充を進めています。

アプリケーション・サービス事業では、医療分野で、連結子会社NOBORIが株式会社A-Lineとの業務提携を行い、2020年の法改正に対応した医療被ばく線量の管理システム「MINCAD」を「NOBORI PAL」のサービスに追加しました。ビジネスソリューション分野では、リスクモンスター株式会社とAI活用による与

信格付け精度向上の実証実験を開始しました。ソフトウェア品質保証分野では、世界的に実績のあるテストケースの管理ツール「TestRail」の総販売代理権を取得し、販売を開始しました。CRM分野では、AIを活用して電話からの問い合わせを音声認識によりテキスト化して内容の要約補助を行うCRMシステムをHmcomm株式会社と共同で開発し、提供を開始しました。

さらに、連結子会社カサレアルでは、統合開発環境製品で世界的に高い評価を受けているJetBrains社とトレーニングパートナー契約を締結したほか、教職員のプログラミング教育スキル取得を支援する「Appleプロフェッショナルラーニング基礎インストラクター」サービスの提供を開始しました。

これらの取り組みを着実に進めていくことで、外部環境の変化に左右されない持続可能な成長基盤を構築し、2020年3月期の通期目標達成を目指してまいります。

株主の皆様へ



当期の通期配当は、前期比2円増配の27円とし、中間配当を12円、期末配当は15円を予定しております。

従前より戦略的に推進している「ストック型ビジネスの拡大」が奏功し、営業成績の季節性が薄れつつあり、特に上半期の収益性が改善してきたことから、当期より中間配当を実施することにいたしました。今回の中間配当を一過的な株主還元とすることがないよう、安定的、継続的な株主還元の実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きテクマトリックスへのご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

テクマトリックスグループ・カサレアル創立20周年

創る、
学べる、
カサレアル。

テクマトリックスグループである株式会社カサレアルが創立20周年を迎えました。1999年7月にシステム開発企業として創立し、2000年よりITエンジニア向け研修事業を開始。2009年よりテクマトリックスグループの一員となりました。

現在では、システム開発分野はもちろんのこと、同社の企業向けIT教育研修が注目を集めており、IT企業の新入社員研修から中堅社員のスキルアップまでIT業界のエンジニア育成を幅広く支えています。そんなカサレアルの代表取締役社長・窪伸一郎氏にお話を伺いました。

創立20周年を迎えて

ここまで多くのお客様・パートナー・社員に支えていただいたことに、心から感謝しています。日々進化し続けるIT業界において、引き続き挑戦をし続けるとともに、二十歳を迎えた企業として、お世話になった皆様へ成長した姿を見せて恩返しができると思っています。

カサレアルのビジネスについて

カサレアルの目標は、「世の中に貢献できる多くの技術者を育成し、世の中を支えるシステムを構築する」ことです。それを実現するために、当社ではITエンジニアに最新技術を教育する「研修事業」と、システム開発やコンサルティングを行う「ソリューション事業」を提供しています。

今後の展望

これからはクラウドコンピューティング技術がますます重要になります。当社はクラウド技術を支えるエンジニアの育成、およびクラウド環境の構築・運用に力を入れることで、クラウド技術の発展に寄与し、より便利で豊かな社会の創造に貢献できたらと思っています。



本社 ▶ 東京都港区三田3-11-24 国際興業三田第2ビル
資本金 ▶ 5,000万円 従業員数 ▶ 57名 会社HP ▶ <https://www.casareal.co.jp/>
1999年7月に有限会社カサレアルとして設立。2009年にテクマトリックスグループ入り。社名のカサレアルは、スペイン語で「真の家」。



代表取締役社長
窪 伸一郎氏

TOPICS

カサレアルでは、「Appleプロフェッショナルラーニング基礎インストラクター」サービスを2019年8月より開始しております。本サービスでは、教師のみなさんのAppleデバイスやアプリケーションスキルの習得を手助けし、学習、指導、導入、管理に関する目標を支援します。

2020年度から始まる新学習指導要領では、小学校、中学校、高等学校においてプログラミング教育が必修化されます。カサレアルは、これまでの経験・ノウハウを生かし、Appleプロフェッショナルラーニング基礎インストラクターとして小学校、中学校、高等学校の教師のみなさんが効率的にアプリケーション開発スキルを習得し、子どもたちにプログラミングの楽しさを知ってもらえる環境作りを支援します。

Topics 2

多様で柔軟な働き方を実現する社内制度の充実



当社では、社員のワークライフバランスに合わせた働き方を支援すべく、ご家族のライフイベントへ立会う機会の創出、家庭の事情による離職を少しでも低減する目的で、育児・介護休暇など様々な制度を導入しています。また、パースデイ休暇は、当社で働く社員が生まれた誕生日を大切な1日と考え、心身をリフレッシュする時間にあてていただくことを目的に導入しています。

また、こうした環境の整備にあたっては、テクマトリックスグループの技術や知見を集結させて検討を行っており、例えば在宅勤務制度の導入には、連結子会社である沖縄クロス・ヘッド株式会社が提供する技術を活用しており、自宅に居ながら会社と同じ環境で仕事ができる仕組みを実現しました。これからも、社員が働きやすい環境の創成に努めてまいります。

社会貢献活動の推進

当社は、豊かな社会の創出に向けた様々な活動に参加しています。また、株主優待の一部には寄付の選択を可能としており、株主の皆様のご支援の気持ちを届けております。

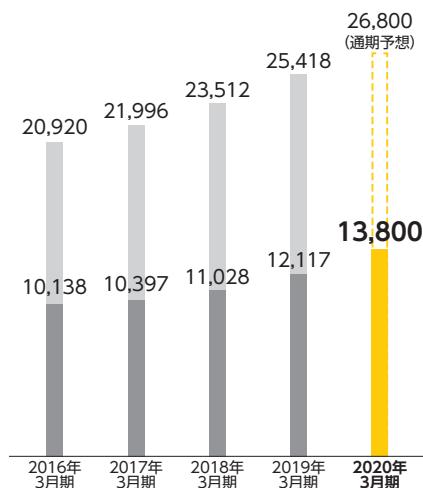
| 活動団体 | 活動概要 |
|-----------------------|---|
| ピープルズ・ホープ・ジャパン | アジアの母子への保健・医療教育支援 |
| Malaria No More Japan | マラリアのない世界の実現 |
| アクセプト・インターナショナル | ソマリアDRRプロジェクト* |
| あしなが育英会 | 優待寄付対象 親を亡くした子どもたちや、親が重度後遺障害で働けない家庭の子どもたちを支援 |
| unicef | 優待寄付対象 世界中の子どもたちの命と健康を守るために活動 |



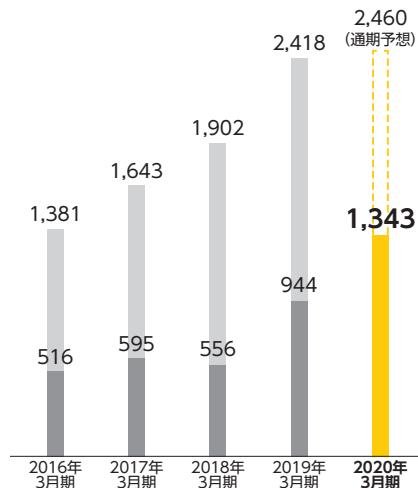
*ソマリアの過激派の“DRR(脱過激化・社会との接点構築・社会復帰)”を中心に据えた社会復帰プログラムを実施。ソマリアの平和とSDGs全体の達成に寄与することが目標。

損益の状況／資産の状況

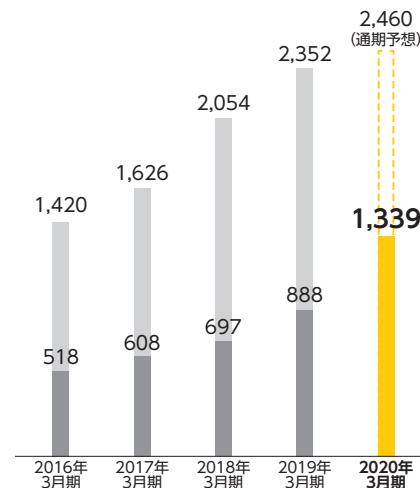
売上高 (百万円)



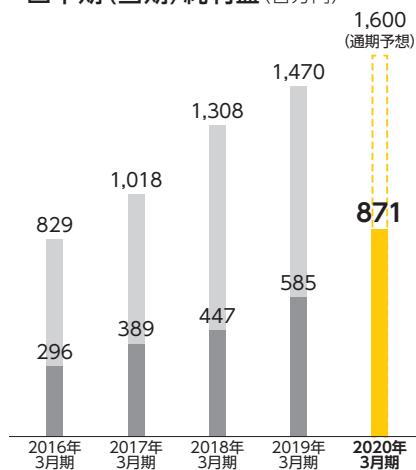
営業利益 (百万円)



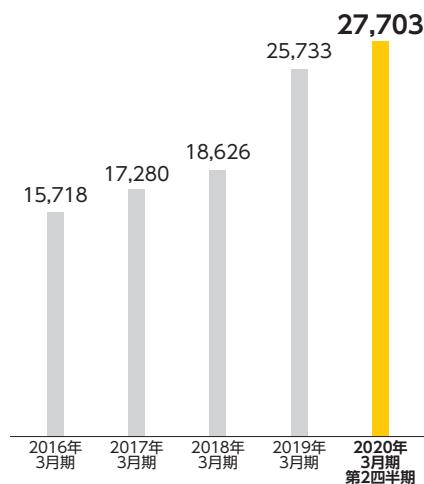
経常利益 (百万円)



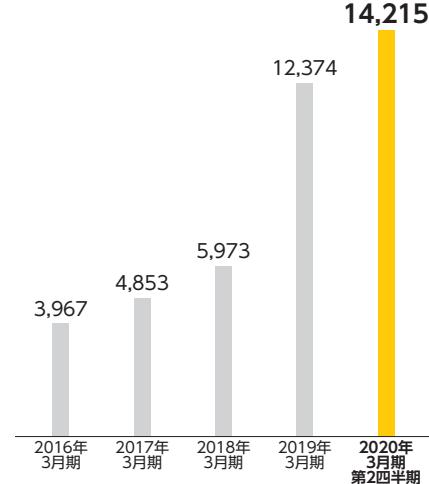
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)



総資産 (百万円)



純資産 (百万円)



1 株当たり配当金について

1株当たり配当金(円) ■ 中間 ■ 期末 ■ 増配

配当性向の推移(%) ● 期末



※2017年3月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っています。そのため2014年3月期期首にこれら株式分割が行われたと仮定して、配当金を表示しています。

※2020年3月期の配当性向は、2020年3月期の業績予想と、2020年9月末時点での発行済株式総数(自己株式を除く)にて算出しています。

利益配分に関する基本方針及び中間配当の実施

当社は、株主価値の向上の一環として株主に対する利益還元を重要課題と位置付けております。利益配分に関する基本方針は、株主への利益還元と内部留保充実のバランスを総合的に判断し、決定しております。配当政策としては、期末業績における連結での配当性向20%以上を基本方針としております。

こうした中、従来は通期業績を鑑みたうえで期末配当のみを実施してはきましたが、当期より中間配当を実施いたします。従前より推進してきた「ストック型ビジネスの拡大」が奏功したことにより、営業成績の季節性が薄れてきたためです。

そのため、2020年3月期につきましては、前期より2円増配の27円(中間配当12円・期末配当15円)とする予定です。

拡充！ 株主優待のご紹介

対象

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された500株以上の当社株式を保有する株主様

優待内容

| | |
|----------|------------------|
| 500株以上 | 1,500円相当の商品または寄付 |
| 1,000株以上 | 4,000円相当の商品または寄付 |

当社は、株主の皆様の日ごろからのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的に、株主優待をご提供しています。

昨年度のお申込みは89.1%と、多くの株主様にご好評をいただいております。今後も継続して実施を予定しております。

優待品

500株以上保有する株主様(1,500円相当)



長崎製法カステラ・
緑茶 詰合せ



横浜本牧亭
ビーフカレー



梅里庵
茶漬・ふりかけ・
味付けのり詰合せ



北海道 鮭三昧



かりんとう
詰め合わせ

1,000株以上保有する株主様(4,000円相当)



松阪牛
すき焼用



伊藤ハム
ハム詰合わせ



国産黒毛和牛
ステーキ用



なだ万
プリン詰合わせ



いくら醤油漬け

※写真はイメージであり、実際の商品と異なる場合がございますのでご了承ください。

■ 会社概要

商号 テクマトリックス株式会社
(英語名: TECHMATRIX CORPORATION)
設立 1984年8月30日
上場 2005年2月18日
証券コード 3762
資本金 12億9,812万円
従業員数 1,108名(連結)

■ 役員の状況

| | |
|----------------|-------|
| 代表取締役社長 | 由利 孝 |
| 取締役上席執行役員 | 依田 佳久 |
| 取締役上席執行役員 | 矢井 隆晴 |
| 取締役執行役員 | 鈴木 猛司 |
| 社外取締役 | 安武 弘晃 |
| 社外取締役(常勤監査等委員) | 佐々木英之 |
| 社外取締役(監査等委員) | 高山 健 |
| 社外取締役(監査等委員) | 三浦 亮太 |
| 社外取締役(監査等委員) | 杉原 章郎 |

■ 株式の状況

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 82,944,000株 |
| 発行済株式の総数 | 22,259,200株 |
| 株主数 | 6,359名 |

株主メモ

| | |
|-------------|--|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 基準日 | 定時株主総会 3月31日 配当金 9月30日、3月31日 株主優待 9月30日 |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 同連絡先 | 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |

ファミリーデーの開催



日ごろ社員を支えてくださっているご家族の方々に感謝の気持ちを伝え、実際にご家族が働く姿・職場を見ていただくことを目的としたファミリーデーを2019年7月26日に開催し、46組の親子が参加されました。

今年も子供達は「テクマトリックス子供社員」として社内放送の音声収録や名刺交換を通じて職業体験をしていただき、当社の社員は頑張る子供達を模擬店で出迎えました。

現在、テクマトリックスでは、毎朝・夕・夜の3回「テクマトリックス子供社員」の社内放送が流れており、社員の皆さんは毎日元気をもらいながら仕事をしています。

Pick Up

ピックアップ

| | |
|---------|---|
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所市場第一部 |
| 公告の方法 | 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告による事ができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL https://www.techmatrix.co.jp/ |



テクマトリックス株式会社 証券コード：3762

〒108-8588 東京都港区三田3-11-24 国際興業三田第2ビル
TEL：03(4405)7800(代表) FAX：03(6436)3500

